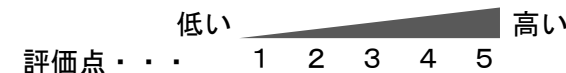


おだわら市民交流センター指定管理者自己評価表（平成 30 年度分）

【機能の達成状況】



(1) 6つの機能

名称	評価点	評価の理由
拠点機能	4	拠点事業として、どの事業もUMECOの機能を生かし活動できた。UMECO企画展では多くの方が関心を示し、「いつも素晴らしい展示なので、見るのが楽しみです。」といただく方がいるのはうれしい限りです。これからも展示品を見て楽しんでいただき、その中から市民活動への理解が深まり、自ら市民活動をやってみたいという気持ちになっていただけるようにしたい。今年度は団体数35と行政は5回参加し多くの団体の活動紹介ができた。
相談・支援機能	3	相談に関して全員が対応できるように努力した。どんな相談でもしていただけるような信頼度を更に深めたい。
協働支援機能	4	地域の課題解決の為に市民活動団体の特性を生かし支援した。企業との協働事業は更に活発化し出演団体以外にも3団体が協力し更に拡大しつつある。
学習・体験機能	4	ボランティア機会の提供はそれぞれの事業で取り組んだが、特に夏休みボランティア体験学習に参加していただくために、市民活動出張（出前）講座に力を入れた。
交流・コーディネート機能	4	交流機能の事業はそれぞれの目的に合わせ、かなり交流がうまくできた。特に声の万華鏡では高校生とのコラボが出来、初めて高校生と一緒に「高校生とライブinUMECO」を実施することができた。高齢化の中で、若者とのコラボは活気的です。新春交流会では、連合自治会長さんも積極的に参加していただき交流がさらに深まった。
情報の集約・発信機能	3	フェイスブック・ホームページ・UMECOだよりはそれぞれの機能をフル活用した。団体や市民からもよい反応を頂いた。

(2) その他

名称	評価点	評価の理由
男女共同参画	3	参加者アンケートによると、男女共同参画の講演を機に男女共同参画の理解が約半数の方に深まった。
国際交流	3	わくわく交流会では7団体の活動報告をした。団体の関わる国の文化の紹介をし、異文化情報交換ができた。

【コンセプトの達成状況】

名称	評価点	評価の理由
誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけの場	4	どの事業も活動を通しつながりを重視しているの、事業ごとに目的を達成するようきっかけ作りをしている。ティーサロンでは、多くの方に参加して頂き交流とつながりが定着してきた。
シェアしながら それぞれの思いが繋がる行動の場	4	わくわく交流会では国際交流と環境の保全の2回を実施した。国際交流では特に異文化の情報交換ができた。
地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる実現の場	4	今年度は、企業・NPO・学校のパートナーシップを県との協働事業で実施した。この中で、市民活動団体が企業や学校との繋がりができるようなきっかけづくりをした。

【その他】

名称	評価点	評価の理由
センターの使用許可 ・会議室の許可等 ・市民活動プラザの許可等	5	事業計画書以上の人員を配置し、迅速な使用許可、付帯設備貸出等を行った。 【管理要員の基本ローテーション】 計画時は午前5人、午後7人、夜間3人 → 30年度は午前6人、午後8人、夜間3人
センターの維持管理 ・印刷機の維持管理 ・清掃業務 ・建築設備の保守管理 ・備品等保守管理 ・防火管理業務	4	建物所有者の小田原市事業協会担当者と連携し、建設設備の保守管理等、適切な管理に努めた。
事業計画・報告等に関する業務 ・事業計画書及び収支予算書等の作成 提出 ・事業報告書の作成及び提出	3	
事業評価に関する業務 ・履行状況の報告 ・利用者の意見、要望の収集 ・利用者会議の実施 ・市との定例会議の開催	3	
施設利用者の安全管理及び危機管理	3	
市主催事業等への協力	4	公用車駐車場料金を免除（平成30年度328,900円相当）した。特別先行予約を受付けた。